

= 第10回エコツーリズム大賞受賞団体の活動概要 =

～ 大 賞 ～ (1団体)

【受賞団体】 ^{こいわいのうぼく} 小岩井農牧 株式会社 (岩手県岩手郡雫石町)

【活動概要】

第7回エコツーリズム大賞では特別賞、第8回では優秀賞を受賞。明治24年の創業以来、畜産と林業を柱に「環境保全・持続型・循環型」の事業を継続。100年前の制服に身を包んだガイドが農場の歴史を語り、その案内のもと参加者は農場内の森を歩き一次産業の体験等を行う。農場のある雫石町だけでなく、周辺地域を巻き込み「環岩手山エコツーリズム」の核となっている。

～ 優 秀 賞 ～ (3団体)

【受賞団体】 谷川岳エコツーリズム推進協議会 (群馬県利根郡みなかみ町)

【活動概要】

第8回エコツーリズム大賞では特別賞を受賞。平成24年に「谷川岳エコツーリズム推進全体構想」が認定。谷川岳において地元エコツアーガイドによる自然散策ツアーやスノーシューツアーなどを開催。また地域住民向けにエコツアーガイド研修を行ない、そのガイドによるモニタリング調査を実施している。

【受賞団体】 株式会社 エコロの森 (富山県富山市)

【活動概要】

第7回エコツーリズム大賞では特別賞を受賞。地域とともにつくるエコツアーを重視。地域住民がエコツアーガイドとして活躍できるような場づくり、ツアーづくりを行うとともに、一度造成したツアーはブラッシュアップしながら継続実施し、質の高いツアーを提供している。カーボンオフセットへの取組も行っている。

【受賞団体】 SATOYAMA EXPERIENCE(株式会社 ^{ちゅぼし} 美ら地球) (岐阜県飛騨市)

【活動概要】

第7回エコツーリズム大賞で特別賞を受賞。「暮らしを旅する」をコンセプトにプログラムを構成。エコツアーガイドは旅行者と住民との間に立ってコミュニケーションを受け持ち、特に地域らしさに興味を持つ欧米系外国人向けのエコツアー事業を充実させている。また飛騨の里地里山の地域資源を把握するため古民家や日々の営みについて地域住民への聞き取りを重ね、地域資源の情報収集とモニタリングを行っている。

～ 特別賞 ～ (5団体)

【受賞団体】 特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会 (福島県福島市)

【活動概要】

カジカガエルやサンショウウオも生息する地で自然と温泉、清流を組み合わせた「源泉探訪ツアー」を行っていたが、震災後に観光客が激減。新たに温泉地熱によるバイナリー発電や温泉熱を活かした体験プログラムを開始。温泉ができる仕組みや森の大切さを学ぶツアーを行っている。

【受賞団体】 特定非営利活動法人 ^{えちごつまり}越後妻有里山協働機構 (新潟県十日町市)

【活動概要】

豪雪地帯でありかつ河岸段丘の地形をもつ越後妻有地域の里山で、農業従事者の高齢化に伴い放棄される田んぼが増える中で棚田オーナー制度を活用し、田んぼを維持。農法や農村生活の知恵を地元農家から直接学び、田植えや稲刈りを含めたツアーを実施。また「大地の芸術祭」を共催し、アートを媒介にした来訪者と地域住民の交流を進める中で、地域の魅力の掘り起こしを行っている。

【受賞団体】 有限会社 森の国 (鳥取県西伯郡大山町)

【活動概要】

大山周辺をフィールドの数々のエコツアーを展開。山から海へサイクリングをする「大山ダウンヒルサイクリング」など人気のツアーを行う。25kmにわたるルートの端々でブナの森や里山の暮しについて解説を行う。インバウンドの受入も積極的で外国人向けのツアーも催行し、日本の伝統家屋のガイドランスなど外国人ならではの興味ポイントを押さえたものになっている。

【受賞団体】 一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会 (広島県広島市)

【活動概要】

過疎化が進む瀬戸内海の島々をフィールドとして、「瀬戸内海の生態系とそれを構成する周辺環境との関係」を重視したエコツアーを開催。島々を「島の駅」とし、各島々の連携を促し、観光客受け入れの体制づくりを進めるとともに滞在型観光客を増加させている。またエコツーリズム推進法に基づく全体構想策定を目指し、西瀬戸広域エリアの自治体間の連携を進めるためのネットワークづくりを行っている。

【受賞団体】 阿蘇ジオパーク推進協議会 (熊本県阿蘇市)

【活動概要】

9月に世界ジオパークに認定され、既存のエコツーリズムへの取組にジオパークの特色を組み合わせたエコツアーを催行しており、草原や湧水、阿蘇火山が作りだした特徴的な地質や地形を活用したプログラムを展開している。また地域の施設や教育機関と連携しジュニアジオガイドの育成も行っている。